

熊本県言語聴覚士会

Speech Language Hearing Therapist

会報 *KSTNET*

第28号 2007年1月15日発行



発行：熊本県言語聴覚士会

直通ダイヤル 070-5961-4461(受話専用)
〒862-0913 熊本市尾ノ上1丁目14-27
熊本託麻台病院(事務局)
TEL 096-381-5111(内線228)
FAX 096-381-5115
E-mail:takumadai-st@horio-kai.or.jp

編集：広報部

〒869-3205 宇城市三角町波多2864-111
メディカル・カレッジ香照館
TEL 0964-54-2211
FAX 0964-54-2213
E-mail:yamaguchi@sei-shoukan.ac.jp

責任者：山口 信

会長からのメッセージ



熊本県言語聴覚士会 会長 小園真知子

2007年は「教育」をキーワードに

新年おめでとうございます。

2007年の年頭に当たり一言ご挨拶申し上げます。

昨年末に発表された1年を締めくくる漢字は「命」でしたが、今年言語聴覚士会のキーワードは、「教育」ではないかと思えます。

熊本県の言語聴覚士数は、今年の春からは200名を超えることとなります。年々増加する新人言語聴覚士の方々を県士会としてどのようにサポートしていくかが昨今の大きな課題です。

当会では、総会時の「特別講演会」、年度の上半期の「新人研修会」、下半期の「学術研究会」を大きな3本の柱とし、さらに各ブロックで自由な研究会が開かれています。

各会員の活動としても、日本言語聴覚学会をはじめ、全国、地方の研究会に意欲的な研究発表が毎年相当数出されています。

今後の教育としては、生涯学習の基礎講座が県単位で開催できるようになりましたので、来年度からは、生涯学習講師養成講座を県内でも開催いたします。就職して3年以内に生涯学習基礎講座を終了できる形が取れるよう県士会で計画していきたいと思えます。

また、来年度より全国規模で9月1日の中

心に、「言語聴覚の日」を設定して、「言語障害および言語聴覚士の仕事の啓発活動」がなされる予定です。当県でも何らかの形でアピールをしていきたいと思っております。

ここ最近のリハビリ界の動きをみていますと、理学療法士、作業療法士、看護師の学校の設立ラッシュ、高学歴化は目覚ましいものがあります。

まだまだ、人材不足といわれている言語聴覚士です。

今後の若い世代に言語聴覚士の仕事を知らせること、医療、福祉、教育の中で言語聴覚療法の啓発を進めていくことなどやるべき課題が山積しています。

自らの学ぶ姿勢を明確にして、自己研鑽、後進の指導に心していただきたいと願っております。

本年も言語聴覚療法の発展のために、会員一人ひとりの力が必要です。

ぜひご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



スペシャル オリンピックス熊本 参加報告



スペシャルオリンピックス熊本に参加して

11月3日,4日にかけてスペシャルオリンピックスが熊本で開催されました。参加者は日本のみならず、韓国、中国から家族も含めると約2000名の参加があり、それに関わるボランティアは約3000名という大規模なものでした。熊本県言語聴覚士会もハートヒヤリングというブースを受け持ち、両日合わせて45名の県士会員で対応いたしました。しかしながら、県士会の皆さんは私も含めて、成人対象の施設の方がほとんどでしたので、日頃、小児の訓練や聴覚検査などは実施されておらず、開始直前まで、不安が多々あったのですが、始まってしまえば、なんのその。皆さんでチームワークよく、特に問題もなく無事に終了することができました。参加者はダウン症、自閉症、精神発達遅滞等様々な障害を抱えたアスリートで、優勝したことを一生懸命に話される方、これから競技に参加することを緊張気味に話される方等、我々も様々な方とお話をする機会がありました。時にはいきなり中国語で話しかけられ戸惑う場面ありましたが、終止ほのぼのとした雰囲気でご過ごすことができ非常に貴重な経験をしたように思います。連休の最中、お忙しい中、お手伝いをいただいた県士会のみなさん、本当にありがとうございました

事業部 宮本恵美



ブロックだより

北部ブロック
荒尾・玉名・山鹿・鹿本

東部ブロック
菊池・阿蘇

中部ブロック
熊本

南部ブロック
益城・八代・人吉・球磨・水俣

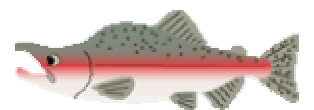
西部ブロック
宇土・天草



[北部ブロック報告]

北部ブロックでは10月7日(土)に菊南病院にて、(元)江戸川病院リハビリテーション科科長の小島知幸先生をお招きして特別講演会を開催いたしました。講演内容は失語症の症状分析に関することや、訓練の立案方法等で非常に臨床で役立つ実践的な内容でした。参加者は76名でした。講演後の懇親会でも、失語症に関する現在のトピックスや症状の分析方法など、時間がたつのも忘れて、あつい談義が繰り広げられていました。

菊南病院 大塚裕一



[東部ブロック報告]

東部ブロックでは、12月15日(金)に熊本リハビリテーション病院にて勉強会を行いました。今回は、阿蘇温泉病院の橋口先生と熊本リハビリテーション病院の木下が発表させていただきました。橋口先生が発表された演題は、「訪問リハにおける環境調整の難しい一症例」です。私が発表させていただいた演題は、「ウェルニッケ失語に対する遮断除去法を用いた訓練—良好なモダリティーからのアプローチ—」です。今回、上記に題した訓練を行い、聴

理解及び発話能力ともに大きな向上を認め、コミュニケーションの改善に繋がりました。今回、改めて、各患者様に応じた訓練方法・訓練課題の選択を行うことが、いかに重要であるかということを確認できた発表になりました。

次回の勉強会は、3月に予定されていますので、皆様奮ってご参加下さい。

熊本リハビリテーション病院
木下 純子



[中部ブロック報告]

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

中部ブロックでは11月22日(水)に熊本第一病院にて、定例勉強会を以下の内容で行ないました。

- ① 院内見学
- ② 症例検討「構成失行と色彩失認に対するアプローチ法について」

(熊本

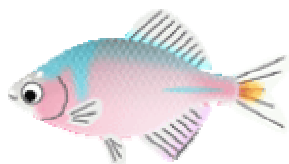
第一病院 野田佳代)

- ③ 「当院のNSTにおけるSTの役割」(熊本第一病院 前田紗知)

参加者は10名程度で、色彩失認がADLに及ぼす影響を検討したり、家族や本人に説明してもなかなか理解されにくい症状で、リスクを証明しにくい症状であることを学ぶことができました。NSTに関しては、NSTを始めて4年経過した熊本第一病院から現状や、STが介入している意義、栄養管理・マネジメントについてお話をいただきました。

次回は平成19年1月中旬に新年会を兼ねた勉強会を開催予定です。皆さまぜひご参加ください!!

熊本第一病院 前田紗知



[南部ブロック報告]

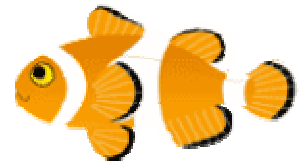
新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

寒い日が続いておりますが皆様お変わりございません。

さて南部ブロックでは、平成18年12月2日(土)に八代市医師会病院にて勉強会を行いました。当日は大変風が強く寒い中ではありましたが20名前後の方々が集まり、八代市医師会病院の徳永STによる①当院での栄養管理に関する取り組み②症例紹介③施設見学などが行われました。医師会病院での栄養管理で工夫されている点について基礎から症例を通しての報告まであり、今後の臨床にいかしていきたいと思います。

次回の勉強会は、平成19年2月24日(土)に水俣市立総合医療センターで開催予定です。内容は①施設の紹介、回復期病棟見学②症例報告③臨床での疑問点などの意見交換④懇親会などです。皆様の参加を心よりお待ちしております。

熊本労災病院 ST 折口 直美



[西部ブロック報告]

西部ブロックでは11月16日(金)に天草セントラル病院において第4回研究会を行いました。演題は「介護保険の口腔機能加算—当院での取り組みの現状—」、発表は天草厚生病院の山内紗里先生でした。

次回はニュー天草病院で2月2日(金)に予定しています。演者は同病院の野村奈保子先生、演題は未定です。

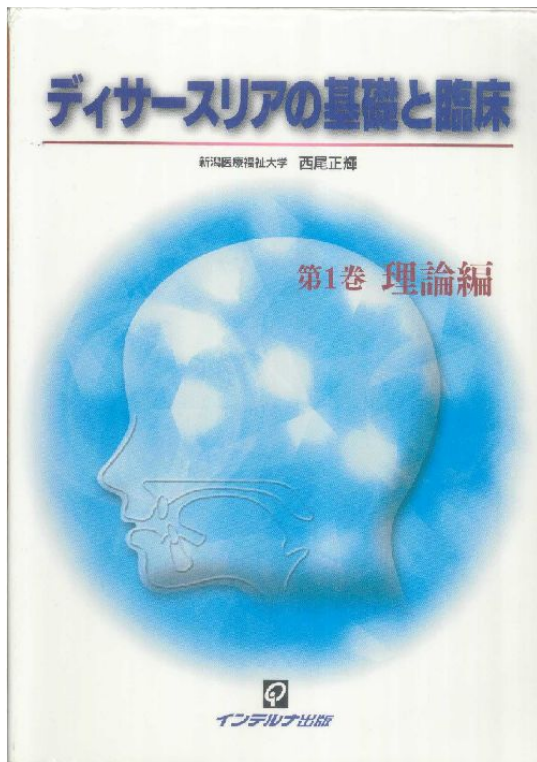
寒い日が続きますが、皆様くれぐれもお体に気をつけてご活躍下さい。

メディカルカレッジ青照館 山口 信





執筆/新潟医療福祉大学 西尾正輝
『ディサースリアの基礎と臨床』
インテルナ出版

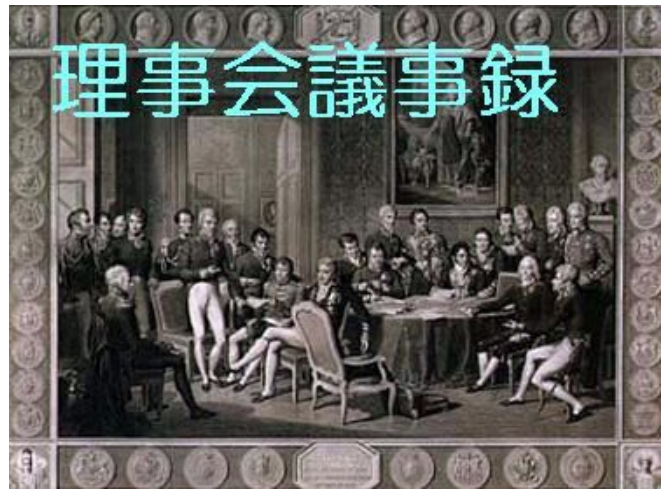


ほんの10年くらいまで運動性構音障害の治療に関する書籍は非常に少なかったのですが、最近はかなり多くなってきました。

しかも、昔の書籍に比べると、具体的・実践的でわかりやすいものが多い印象です。

この本もそうした分かりやすく実践しやすいものの一つです。

以前ならば用語としては知っていても具体的に目で見るとはなかなか難しかったような疾患や症状、評価や手技などが視覚的なイメージも含めて大変分かりやすく解説されています。



平成18年度 第4回 理事会議事録

開催日：平成19年1月5日 19:00～

場 所：熊本託麻台病院

参加者：小菌、三浦、中村、黒川、山口、森田、宮本、折口、山本、下田、前田

【報告事項】

※ 議案参照

ブロック報告

東：12/15 熊本リハビリテーション病院にて勉強会開催。参加者は25名。阿蘇温泉病院の橋口先生、熊本リハビリテーション病院の木下先生より症例報告。次回は2月に開催予定。

西：11/16 天草厚生病院、

南：12/2 八代医師会病院

北：10/7 菊南病院にて、江戸川病院の小嶋先生の特別講演会を開催。76名参加。1月に新年会、4月に症例報告会、秋に講演会を行なう予定。

中部：11/22 熊本第一病院にて勉強会開催。症例検討とNSTにおけるSTの役割という内容。次回は1月に新年会を兼ねた勉強会を開催予定。

【検討事項】

- ・ プライマリーケア研究会の報告（山本）

11/10 世話人会 12/10 研修会

相談・・・世話人が会長や副会長などばかり。STも役職ある方がよいのでは・・・？

⇒ 負担になるなら山本→小菌へ

- ・ 保険請求返還についてのアンケート内容の検討（折口）

※別紙アンケート用紙参照

再請求をしたか、その場合のコメントが記入できるように。

入院・外来、成人・小児の区別ができるよう

にする。

- ・ 学術研究会 2月18日午後 特別講演と一般演題4題
ブロックで参加促しを
- ・ 平成19年度失語症のつどい（熊本託麻台病院）
4月・5月に行なう予定。
今年から県立大が有料になることから、青年会館で開催できないか検討中。
つどいの後に総会・懇親会を行なうのはどうか？
- ・ 平成19年度役員改選
選挙管理委員会：回生会病院（委員長：鋤田）、西日本病院、熊本託麻台病院
公示は1月末か2月

【事務局報告】

- ・ 平成19年度総会
6/9,16に開催。研修会も含めて事務局で準備にあたる。

【その他】

- ・ 2/28 シティ FM：小児分野から出演。丸内先生に選出してもらう
- ・ 2/24 済生会熊本病院：病診連研修会
- ・ 年会費の徴収 ⇒ ブロック長声かけ会に入っているメリットを。
若い会員を理事やブロック長に選出しては？
- ・ スペシャルオリンピックス（11/3,4,5）
ボランティア45名参加
内容：聴覚のスクリーニング ダウン症、自閉症、精神発達遅滞など130名程度
なぜスクリーニングが必要？ ⇒ 聴覚障害を発見し、情報を提供する為
次回開催日：平成19年4月6日 19:00～ 熊本託麻台病院

文責：熊本第一病院 前田紗知



【熊本認知神経リハビリテーション勉強会】

[日時]平成19年1月19日（金）
[場所]熊本機能病院リハビリセンター
[内容]現象学講習会報告
小菌真知子先生 熊本機能病院言語聴覚士
[参加費]無料
[連絡先]Tel.096-345-8111

【くまもと訪問リハビリテーション研究会総会および講演会】

[日時]平成19根年1月26日（金）18:30-20:30
[場所]産業文化会館6階第6会議室
[講演会参加費]会員1000円（別途平成19年度会費を1000円徴収します）
非会員2000円
[懇親会]3000円程度東急イン予定
[プログラム]
受付
18:10
くまもと訪問リハビリテーション研究会総会
18:30-19:00
研修会 講演会
19:00-20:30
『訪問リハビリテーションにおけるニーズの把握と連携』～気づこうニーズ！築こう連携～
北海道文教大学 人間科学部 斉藤正美先生
懇親会
21:00-
[問合せ・申し込み]FAXかメールにて
[申し込み締切]平成19年1月13日（土）
[問合せ・申し込み先]FAX 送信先 096-345-8188
メール：kuma-houmonn@mail.goo.ne.jp

会計より

年会費未納の方は、下記の口座に納入お願いします。年会費は4000円です。
肥後銀号 清水支店 普通預金
口座番号 1483841
名義 三浦真弓（ミウラマユミ）
県士会の活動は全て皆様の会費により行われています。なにとぞよろしくお願い致します。



[全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会第9回研究大会特別企画市民公開講座]

[テーマ]

「脳卒中の予防からリハビリテーションまで」
[演題]『予防と急性期治療』橋本洋一郎氏 熊本市立熊本市市民病院 神経内科部長

『回復期と維持期のリハビリテーション』
石川 誠氏 医療法人社団輝生会 初台リハビリテーション病院

司会・進行 木村和也氏 RKK 熊本放送 アナウンサー

[日時]平成19年2月3日(土)午後1時～3時(受付開始12時40分)

[場所]熊本県民交流会館10階 パレアホール(入場無料)

[申込方法]FAXまたはメールにて(先着300名になり次第締切)

FAX096-343-0517 メール siminkoukai@juryo.or.jp

[問合せ]市民公開講座担当 熊本機能病院 医療社会事業部(浦野秀雄・加来克幸)

TEL096-345-8111(代表)

[くまもと ST こどもサポート NET]

[日時]平成19年2月10日(土)19:00-

[場所]江南病院 5階 大会議室

[話題]『発達障害を持つ子どもへの理解と親支援』

[スケジュール]19:00-

話題提供:理解と親支援のキーワード

20:10-質問応答・意見交換

20:25-情報交換・ケース相談

20:40 閉会

[第2回熊本県言語聴覚士会学術研究会]

[日時]平成19年2月18日(日)

受付開始 12:30 講演開始 13:00

[場所]熊本産業文化会館

[特別講演]「身体を使って思考するー認知運動療法の基本概念と臨床」

広島大学大学院保健学研究科 宮口英樹先生

[参加費]会員 無料 非会員 500円

[参加申し込み]熊本リハビリテーション病院

TEL:096-232-3111(代)

リハビリテーション部 言語聴覚科 久池井 宛

FAXにてお申し込みください

FAX:096-232-3119

[第4回リハビリテーション病診連携会議]

[テーマ]大腿骨頸部骨折リハビリテーションの病診連携

[日時]平成19年2月24日(土)15:00-18:00

[場所]済生会熊本病院 管理棟3階 Cホール

[対象]県下当院連携施設のリハビリテーション関連職員

[内容]第一部 学術講演

テーマ「大腿骨頸部骨折の急性期治療」

座長:西田公明

(済生会熊本病院 整形外科部長代行)

講師:岩本克也

(済生会熊本病院 整形外科医)

第二部 パネルディスカッション

1.パネリスト発表「大腿骨頸部骨折リハビリテーションの現状と課題」

パネリスト:

にしくまもと病院 理学療法士 野尻 良

聖ヶ塔病院 作業療法士 橋口貴大

済生会熊本病院 理学療法士 内田奈々

2.全体討議

[言語聴覚士・言語通級指導教室教師のための高機能自閉症・アスペルガー症候群の理解と支援]

[対象]言語聴覚士・言語通級指導教室教諭定員40名

[開催日時]2007年3月9日(金)10:00-3月11日(日)13:00

[場所]3月9日・10日:マルコーイン・新横浜 多目的スペース「シティオ」

※新横浜駅徒歩3-5分

3月11日:よこはま発達クリニック

※新横浜駅より市営地下鉄「あざみ野」方面

行き4駅目の「センター南」駅下車徒歩3分

[受講料]2日間(3/9-10)で42,000円(消費税込)

3日間(3/9-11)で52,500円(消費税込)

[申込方法]HP参照のこと

[問合せ先]よこはま発達クリニック

TEL:045-942-1077 FAX:045-942-1099

E-mail:info@ypdc.net HP:http://www.ypdc.net

編集後記

昨年11月に父が亡くなりました。父は若い頃から難聴でしたが補聴器を拒否し、亡くなる3日前まで入院を拒否し、本当に最小限の医療しか受けずに旅立っていきました。自分は父のような患者でも喜んで病院に来たくなるようなSTをしていただろうか…反省しきりです。(信)

yamaguch@seishoukan.ac.jp